

会 長 方 針

2018～2019年度

会 長 三澤京子

活 動 方 針

2018～2019年度国際ロータリー会長 バリー・ラシン氏のテーマ「インスピレーションになろう」で、「私たちに与えられた責任は、可能な限り効果的に奉仕することによって、情報の透明性と説明責任を重んじながら、そして、意義があり、持続可能な方法で、出来るだけ多くの人により良い変化をもたらしながら、先人たちの活動の上に将来のための堅固な土台を築くことです。ロータリーで会員が最高の経験が出来るように、そしてロータリーが今年度や次年度だけでなく、ロータリーでの私たちの活動、ひいては私たちの生涯を超えて成長し続け、世界に役に立っていけるようにしながら。」と呼びかけました。

私たちの標語「超我の奉仕」からインスピレーションを働かせてロータリーに変化をもたらす発想の転換を行い、新発想のもとにロータリーを活性化してまいります。

活 動 計 画

1. 奉仕の実践

R財団の地区補助金を活用して、地域社会・青少年のための奉仕活動を実践する

2. R I 戦略計画の推進

会員維持率100%をめざす

寒川町の事業に積極的に参加し、公共イメージと認知度の向上を図る

3. 会員増強3名以上

若い人・女性が入会し易い柔軟な環境を作り、会員増強を図る

4. R財団・米山記念奨学会への寄付

R財団寄付：奉仕活動への資金源

目標 年次寄付 200ドル以上/人

恒久基金 1,000ドル/クラブ

ポリオ寄付 40ドル以上/人

米山記念奨学会特別寄付

目標 20,000円以上/人

5. マイロータリーの登録率向上

会員登録率60%を目指します

6. 姉妹クラブ(台北士林RC・寒河江RC)との交流